

2020年タブノキ保全活動びわ南小学校竹生島にて

11月16日びわ南小学校6年生（48名）、保護者、先生、ボランティア、県立大学関係者、市内地域づくり協議会、滋賀県職員、市職員総勢110名が長浜港で藤井長浜市長の激励の言葉と見送りをいただきチャーター便で竹生島に向け出航しました。3年前にびわ南小学校の児童が芽生え苗を採ってくれたのが大きくなり50本の芽生え苗の植栽と、後輩達にへと芽生え苗を採りに出向きました。当日はあいにくの小雨でしたが、竹生島到着時には天候も回復し児童とボランティアの方と班ごとに分かれて山に登り中腹で滋賀県立大学野間准教授からタブノキのお話を聞き、50本の苗を指定された場所に植栽を行いました。次に山の北と南に分かれタブノキの芽生え苗採りです。急斜面や細い山道をタブノキの芽生え苗を見つけ、ボランティアの方にスコップで掘り起こして貰い、児童が移植ゴテを使って12cmのスリットビニール鉢に1人当たり3本の苗を採りました。重い苗を港まで持ち帰りました。昼は子供達もボランティアさんと弁当と一緒に島内で食べました。昼食後は宝厳寺や修復された唐門・竹生島神社をお参りして、13時40分に船に乗り帰ってきました。採った苗は下八木町の神社境内にて、びわ地協環境部の八木さん中辻さん沓水さんに育ててもらい、3年後に竹生島に植え戻し、緑豊かな島になるよう願っています。宝厳寺・竹生島奉賛会・琵琶湖汽船・長浜市にご協力頂き有り難うございました。



びわ南小学校での事前学習（八木・沓水の両氏）



長浜港からチャーター船で



山の植栽地に到着



先輩が採った苗の植栽



県立大学野間先生のお話



スコップで植え穴を掘ります



苗を植えます



植えられました



タブノキの芽生え苗採り



スコップで起こし採ります



沢山採ってきました



楽しいお弁当の時間



宝厳寺や竹生島神社の参拝見学

